

I 概要

近年、少子・高齢化に伴う社会の変化によって、家族や地域社会の絆が弱まり、住民相互のつながりも希薄化するなかで、本会としては地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的な団体として、市民の誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進し、「地域福祉活動計画」の基本理念である「一人一人が互いに尊重しあい、支えあって地域で安心して暮らせる心豊かなまちづくり」を達成するため、民生委員児童委員・ボランティア・各関係機関団体との連携を密にし、地域福祉の充実に努めました。

多久市権利擁護相談支援センターでは、知的障害、精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な方が安心して生活が送れるような身近な相談窓口として、①成年後見制度等の利用に関する相談支援、②権利擁護サービスの提供、③権利擁護支援の普及・啓発、④他機関連携による地域見守りネットワークを推進しています。更に、令和5年1月から成年後見制度の利用促進に向け中核機関を設置、運営しています。

市内の社会福祉法人、NPO法人19組織が参画している「多久市地域貢献推進協議会」では、地域と住民の福祉向上と安心・安全の地域づくりを展開するため活動を継続しています。

住居内整理整頓事業では、高齢者、障害者、生活困窮者等、住居内における衛生環境の確保が困難な方に支援を行いました。住民参加型有料在宅福祉サービス事業『わかちあいの和』では、「ちょっとした困りごと」を抱えている方に対して住民の参加と協力により地域課題の解決等を行い、更に、通院・買い物等の外出の付添と送迎の『おでかけサポート事業』を令和4年7月から実施しています。子育て支援事業の一環としては、誕生記念絵本の贈呈、チャイルドシートの貸与を行っています。

生活困窮者自立支援事業では、無料相談窓口の設置、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者と寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行っています。

また、公の施設である多久市社会福祉会館の管理運営を行い、高齢者の生きがいや社会参加のための多久市シルバー人材センター事業にも取り組みました。

ボランティア活動の振興については、多久市ボランティア連絡協議会の育成に努め、菜の花で明るいまちにするために「イエローマジック多久プロジェクト」を昨年度に引き続き実施しました。また、ボランティア活動協力校の活動支援を行いました。

地域福祉、在宅福祉事業としては、寝たきり高齢者、重度障害者の介護者に対する介護見舞金の支給、スロープ付車輛による移送サービス、介護ベッド等の福祉機器の貸与、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者に対し、日常的な金銭管理や書類等の保管をする福祉サービス利用援助事業及び在宅生活サポート事業『あんしんねっと』を実施しました。

福祉の啓発事業としては、社協だより、すてっぷ、事務局通信「すまいる」を発行、ホームページ等の更新を行い、福祉に関する啓発を図りました。

居宅介護支援・訪問介護事業所として、要介護者に対しサービス提供を行い、社協独自事業（介護保険対象外）の在宅サポート事業『さわやか』を実施しました。

共同募金事業については、地域住民、民生委員児童委員会等の理解と協力のもと10月から

1 2月まで赤い羽根共同募金活動を実施しました。

また、日赤事業については、日赤会員の募集、広報活動を実施し、2023 トルコ・シリア地震救援金、ウクライナ人道危機救援金についても取り組みました。

令和4年8月3日からの大雨災害義援金については、佐賀県共同募金会・日本赤十字社佐賀県支部と連携しながら募金活動等を行いました。

II 事業の実施状況

1 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会の開催

| 監事会 | 期日・場所 | 内 容 |
|-----|-------------------------|--|
| | 令和4年5月19日(木) 市社会福祉会館 | ①令和3年度事業報告及び決算について ②令和3年度佐賀県共同募金多久市支会決算について |

| 理事会 | 期日・場所 | 内 容 |
|-----|--------------------------|---|
| | 令和4年5月26日(木) 市社会福祉会館 | ①令和3年度事業報告の承認について ②令和3年度一般会計収入支出決算の承認について ③評議員選任・解任候補者(案)について ④令和4年度一般会計収入支出補正予算(第1次)(案)について ⑤評議員選任・解任委員会の招集について ⑥定時評議員会の招集について |
| | 令和4年10月27日(木) 市社会福祉会館 | ①令和4年度一般会計収入支出補正予算(第2次)(案)について |
| | 令和4年12月16日(金) 市社会福祉会館 | ①令和4年度一般会計収入支出補正予算(第3次)(案)について |
| | 令和5年3月28日(火) 市社会福祉会館 | ①多久市社会福祉協議会事務局規程の一部改正(案)について ②多久市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について ③令和4年度一般会計収入支出補正予算(第4次)(案)について ④令和5年度事業計画(案)について ⑤令和5年度一般会計収入支出予算(案)について |

| 評議員会 | 期日・場所 | 内 容 |
|------|-------------------------|---|
| | 令和4年6月27日(月) 市社会福祉会館 | ①令和3年度事業報告について ②令和3年度一般会計収入支出決算の承認について ③多久市社会福祉協議会理事の選任について |

(2) 各種委員会の開催状況

| 委員会の別 | 期日・場所 | 内 容 |
|-------------------|--------------------------|---|
| 評議員選任 解任委員会 | 令和4年6月3日(金) 市社会福祉会館 | ①多久市社会福祉協議会評議員の解任について ②多久市社会福祉協議会評議員の選任について |
| 共同募金 運営委員会 | 令和4年5月26日(木) 市社会福祉会館 | ①令和3年度収支決算の承認について ②令和4年度収支予算(案)について |
| | 令和4年12月16日(金) 市社会福祉会館 | ①令和3年度歳末たすけあい募金配分結果について ②令和4年度歳末たすけあい募金配分計画(案)について |
| | 令和5年3月28日(火) 市社会福祉会館 | ①令和5年度収支予算(案)について |
| 福祉資金審議会 | 令和4年4月21日(木) 市社会福祉会館 | ①貸付状況について |
| | 令和4年9月15日(木) 市社会福祉会館 | ①貸付状況について |
| 表彰審査委員会 | 令和4年10月27日(木) 市社会福祉会館 | ①令和4年度市社会福祉協議会被表彰者の審査について |
| 長寿社会振興 事業推進委員会 | 令和5年2月16日(木) 市社会福祉会館 | ①令和5年度助成計画(案)について |
| シルバー人材 センター総会 | 令和4年6月21日(火) 市社会福祉会館 | ①令和3年度事業報告及び実績報告について ②令和4年度事業計画(案)について ③役員(安全適正就業対策推進委員)改選(案)について |
| シルバー人材 センター理事会 | 令和4年6月7日(火) 市社会福祉会館 | ①令和4年3月分実績報告について ②令和4年度総会について |
| | 令和4年7月26日(火) 市社会福祉会館 | ①令和4年度4～6月分実績報告について ②シルバーの日及び研修会について |
| | 令和4年10月4日(火) 市社会福祉会館 | ①令和4年度7～9月分実績報告について ②シルバーの日及び研修会について |
| | 令和5年3月14日(火) 市社会福祉会館 | ①令和4年度10～2月分実績報告について ②令和5年度総会について ③理事の改選(案)について |

(3) その他定例会議への出席状況

| 会 議 名 | 内 容 |
|----------------------------------|---|
| 民生委員児童委員会(毎月上旬) | 所管事項について諸調査依頼及び伝達。 |
| 民生委員児童委員会正副会長会(毎月下旬) | その他業務上必要な意見交換を行う。 |
| 地域包括ケア会議(第4木曜日) | 地域包括支援課、医師、歯科医師、社協、福祉施設、介護老人保健施設等の担当者が出席し、事例検討会等を行いました。 |
| 高齢者虐待防止ネットワーク推進委員会 (第4木曜日)年3回 | |

| | |
|-------------------|--|
| 支援センター会議（第2・4水曜日） | 地域包括支援課、社協、天寿荘、いこいの里の担当者が出席し、在宅福祉事業についての検討会を行いました。 |
|-------------------|--|

（4）役職員研修会への出席状況

①市町社会福祉協議会役員（理事・監事・評議員）・職員合同研修会

・期 日 令和5年2月15日（水）

・場 所 佐賀市文化会館

講演 「地域共生社会時代における市町社会福祉協議会の経営戦略

～重層的支援体制とコミュニティソーシャルワーク機能～」

講師 （公財）テクノエイド協会理事長

（特非）日本地域福祉研究所理事長 大橋謙策 氏

（5）小城・多久地区障害者相談支援センターへの職員出向

障害者総合支援法に基づき平成18年10月1日から小城市桜楽館内に開設している「小城・多久障害者相談支援センター」に相談支援業務を行う職員1名が出向しています。

相談実績：多久市（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

| 項目 | 内 容 | 件 数 |
|------------------|------------------|-----|
| 対 象 障 害 | 身体 | 180 |
| | 重症心身 | 48 |
| | 知的 | 350 |
| | 精神 | 256 |
| | 発達 | 91 |
| | 高次脳機能 | 12 |
| | その他 | 3 |
| | 計 | 940 |
| 相 談 内 容 | 福祉サービスの利用等に関する支援 | 685 |
| | 障害や病状の理解に関する支援 | 11 |
| | 健康・医療に関する支援 | 82 |
| | 不安の解消・情緒安定に関する支援 | 95 |
| | 保育・教育に関する支援 | 3 |
| | 家族関係・人間関係に関する支援 | 14 |
| | 家計・経済に関する支援 | 14 |
| | 生活技術に関する支援 | 18 |
| | 就労に関する支援 | 13 |
| | 社会参加・余暇活動に関する支援 | 1 |
| | 権利擁護に関する支援 | 0 |
| | その他 | 4 |
| | 計 | 940 |

2 地域福祉活動事業

(1) 長寿社会振興事業

①在宅で高齢者等を介護されている方に対して年1回在宅介護見舞金を支給しました。

(支給件数126件、支給総額1,260,000円)

②老人クラブ、身体障害者福祉協会が実施したゲートボール大会、グランドゴルフ大会など健康と生きがいづくり事業に対して助成を行いました。

③ボランティア事業への助成

ボランティアに対する研修、講習その他活動の活発化に資する事業に対し助成しました。

③社会福祉大会の実施

地域福祉の推進および啓発、また、社会福祉の発展に寄与された方々に対し、感謝の意を表すため、社会福祉大会を開催しました。

期 日 令和4年11月13日(日)

場 所 市中央公民館

オープニング 銭太鼓愛好会「鼓隆会」、日本舞踊由紀流「練舞会」

第1部 式典

表彰対象 ①民生委員児童委員 8人 ②社会福祉団体役員 3人

③社会福祉施設職員 2人 ④在宅介護 5人

伝達表彰 九州社会福祉協議会連合会会長表彰[多年勤続民生委員児童委員]
3人

第2部 記念講演

演題 『優しい世界へ ～たたくより たたえ合おう～』

講師 田原優子 氏

(2) 生活困窮時食料等提供事業

生活困窮者の自立支援及び社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう食料物資支給を行っております。令和4年度は、延べ59箇所から2,395品の食料品の提供をいただきました。内、生活に困窮されている方など延べ33人に対し1,659品の食料品を提供いたしました。

また、令和4年度の生活困窮者支援体制構築プラットフォーム補助事業を活用し、提供する食料の確保のための備品を整備しました。(フードバトン事業)

(3) 多久市権利擁護相談支援事業

権利擁護支援の普及・啓発等、権利擁護の総合相談窓口として市民の権利を守ることを目的として「多久市権利擁護相談支援センター」を開設しています。知的障害や精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活が送れるように成年後見制度や福祉サービス利用援助事業などの活用について、相談対応を実施しました。

(4) 住居内整理整頓事業

高齢者、障害者、生活困窮者等、身体的・経済的・環境的な理由により、住居内の衛生環境の確保が困難な世帯に対して1件の環境整備を行いました。

(5) 緊急時要援護者見守り支援事業『まもりん』

高齢者や体の不自由な人たちに対する緊急時の迅速な対応として、医療・服薬・緊急連絡先などの情報を専用容器に入れ、家庭の冷蔵庫に掛けておくことで、緊急時に備え、見守り活動の充実を図るとともに、見守られる側のおんしんの確保につなげることを目的に実施しました。令和4年度実績は設置件数368件で多久消防署の活用は1件ありました。また、関係機関（社協、市地域包括支援課、消防、警察、民生委員児童委員、区長、医療関係者）によるネットワーク会議を開催しました。

- ・期 日 令和5年3月22日（水）
- ・場 所 市社会福祉会館

(6) 福祉有償運送事業

車椅子を使用しなければ移動が困難な方を対象として、生活圏の拡大を図ることを目的にスロープ付車両1台を運行した結果、延べ147回の利用がありました。利用料は、距離制による利用者負担です。

(7) 在宅生活サポート事業『おんしんねっと』

高齢者や障害者がより安心安全に在宅生活を送れるよう、日常的な金銭管理サービスや書類等の預かりサービス等の利用に関する手続き等の支援を行うことを目的に実施しました。利用者数は23名でした。

(8) 寝たきり老人等寝具クリーニングサービス事業

在宅寝たきり老人等の常時臥床状態で使用されている寝具類の丸洗い及び乾燥等を助成することにより、衛生改善と在宅福祉の向上を図ることを目的として、実施していますが、利用はありませんでした。

(9) 福祉用具等貸与事業

在宅で介護されている方、利用者の方の身体的、経済的負担の軽減を目的に福祉機器を貸与しました。短期間貸与の状況は次のとおりでした。

| 機器名 | 保有台数 | 貸与延件数 |
|----------|------|-------|
| ベッド | 32 | 35 |
| 車椅子 | 26 | 36 |
| 歩行器 | 3 | 1 |
| チャイルドシート | 8 | 25 |
| ジュニアシート | 6 | 12 |

(10) ボランティア活動の推進

①小学生・中学生を対象とする福祉体験教室、学校ボランティア育成事業

次代を担う児童、生徒に対して福祉教育、ボランティア活動の機会を提供し、他人を思いやる心や相手の立場に立って考えることのできる温かい心、社会に貢献する心を育成することを目的に実施しました。

イ) 福祉体験教室

| 期 日 | 対 象 | 人数 | 内 容 |
|------------|--------------------|----|-------------------------------|
| 令和4年6月21日 | 多久市立東原席舎 中央校5年生 | 86 | ふくしの種まきプロジェクト ・「ふくし講話」 |
| 令和4年6月28日 | 多久市立東原席舎 西溪校4年生 | 27 | ふくしの種まきプロジェクト ・「ふくし講話」 |
| 令和4年9月13日 | 多久市立東原席舎 西溪校4年生 | 27 | ふくしの種まきプロジェクト ・「手話体験」 |
| 令和4年9月20日 | 多久市立東原席舎 中央校5年生 | 44 | ふくしの種まきプロジェクト ・「高齢者疑似体験」 |
| 令和4年9月21日 | 多久市立東原席舎 中央校5年生 | 44 | ふくしの種まきプロジェクト ・「高齢者疑似体験」 |
| 令和4年9月28日 | 多久市立東原席舎 中央校5年生 | 87 | ふくしの種まきプロジェクト ・「障害者スポーツ体験」 |
| 令和4年11月29日 | 多久市立東原席舎 西溪校4年生 | 27 | ふくしの種まきプロジェクト ・「アイマスク体験」 |
| 令和5年3月10日 | 佐賀県立多久高校 1年生 | 23 | ふくしの種まきプロジェクト ・「高齢者疑似体験」 |

ロ) 学校ボランティア育成事業協力校に対して1校50,000円を助成しました。

| 学校名 | 活 動 内 容 |
|-------------------|---|
| 東原席舎中央校 (前期課程) | 花いっぱい運動、国際理解講座、新入生を花で迎える活動、卒業式を花で飾る活動 |
| 東原席舎東部校 (前期課程) | 花壇づくり、芋苗植え、芋収穫体験、そば刈り・そば打ち、田植え・稲刈り体験、ビワ袋掛け・収穫、東多久駅チューリップの球根植え、緩和ケア病棟へのスマイルカード作り、低学年クリーン作戦、ありがとう集会、独居老人へのお便り（暑中見舞い状・年賀状）募金活動（赤い羽根他）、アルミ缶回収、認知症キッズサポーター、学校新聞・PTA新聞の発行、校内花いっぱい運動 |

| | |
|----------------------|---|
| 東原庁舎中央校 (後期課程) | クリーン活動(学校・駅・駐車場周辺の清掃)、募金活動(赤十字)、専門委員会、校内美化 |
| 東原庁舎西溪校 (前期・後期課程) | 春秋の積菜への参加、積菜に向けての花育てや陳列、地域清掃活動、募金活動(白い羽根、赤い羽根)、ボランティア活動の写真撮影、花いっぱい運動、エコキャップ回収、清掃用具点検活動 |
| 東原庁舎東部校 (後期課程) | 独居老人へのお便り(暑中見舞い状・年賀状)、美化活動、佐賀県医療センター緩和ケア病棟へ video letter、スマイルカード作成、募金啓発ポスター作成、活動報告会、朝のあいさつ運動、募金活動(赤い羽根他)、校内美化活動、アルミ缶収集 |
| 多 久 高 校 | 学校周辺清掃活動、募金活動、多久市立図書館ボランティア(ボードゲーム)、多久聖廟周辺合同美化活動、多久まつりボランティア、しあわせのイエロー多久プロジェクト、多久市児童センターあじさいボランティア(スマイルフェスタ、文化祭) 献血活動、佐賀県青少年赤十字定例会参加、佐賀県青少年赤十字トレーニングセンター参加、24時間テレビチャリティー募金、高校生介護技術コンテスト、「介護の日」記念イベント参加、ボランティアの集い参加、アルミ資源回収、小切手収集、ペットボトルキャップ回収、校内美化活動、認知症サポーター養成講座、ふくしの種まきプロジェクト |

②イエローマジック多久プロジェクト

市内12のボランティア団体で組織する多久市ボランティア連絡協議会と連携し、約44キログラムの菜の花の種をまき、黄色い花を咲かせ、明るいまちにするために地域まちづくりの推進に取り組みました。各団体が手分けして JR 東多久駅の北側や JR 中多久駅周辺の唐津線沿線など市内10か所にまきました。

③ボランティアの集い

多久市内でボランティア活動に参加している人、またこれから活動しようとする人を対象に、日頃の活動と課題や今後の取り組みについて研修し、明日への活動へと繋いでいくことを目的に開催しました。

期 日 令和5年2月25日(土)

場 所 市中央公民館

講 演 演題 『一步ふみだそう!』

講師 佐賀市生活自立支援センター
センター長 桑原宏樹 氏

参加者 69人

④ふれあい広場の実施

共同募金運動の一環として、地域福祉の推進を目的に多久まつり会場において、イベント募金を実施しました。

期 日 令和4年10月29日(土)・30日(日)
場 所 多久駅周辺(多久まつり会場)
協力者 30人
募金額 80,493円

⑤災害ボランティア研修会

災害ボランティアについて認識を深め、安心・安全のまちづくりに積極的に参画することを目的として開催しました。

期 日 令和5年3月23日(木)
場 所 市中央公民館
講 演 演題 『災害ボランティア活動について』
講師 佐賀県社会福祉協議会
まちづくり課長 福田 功 氏
実践報告 日本赤十字社佐賀県支部 事業推進課
災害救護係長 上瀧達也 氏
参加者 61人

(11) 子育て支援事業

新生児への誕生記念品(絵本)贈呈 96件

(12) 住民参加型有料在宅サービス事業『わかちあいの和』

「ちょっとした困りごと」を抱えている方に対して、公的サービスだけでは賅いきれない地域の福祉ニーズを、住民の参加と協力により地域課題の解決や在宅福祉の充実と住民の福祉活動の参加意識の向上に資することを目的として実施しました。

①利用会員52名 ②協力会員38名 ③利用件数220件

(13) おでかけサポート事業

介護保険の被保険者が要介護状態等となることを予防し、社会に参加しつつ地域において自立した日常生活を営むことができることを目的に、行政と連携し有償ボランティアによる通院・買い物等の外出の付添と送迎を実施しました。

①利用会員54名 ②協力会員20名 ③利用件数208件

(14) 相談事業

市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、市民福祉の向上を図ることを目的として多久市民生委員児童委員連絡協議会、多久市身体障害者福祉協会の協力を得て、「心配ごと相談」と「身障相談」を実施しました。

(15) 啓発事業

社協活動を市民の皆さんに広く知ってもらうために機会を捉えて事業の紹介や「社協だより（年3回）」、多久市生活自立支援センターだより「すてっぷ」、事務局通信「すまいる」を発行し、県内関係機関に情報発信しています。また、ホームページ等も常時更新しました。

(16) 実習生の受け入れ

令和4年度の実習生の受け入れはありませんでした。

(17) 福祉関係団体等への助成

①福祉関係団体等を育成援助するため次の団体に対し、活動費を助成しました。

| 団 体 名 | 1 団体の助成額（円） |
|------------------------------------|-------------|
| 市身体障害者福祉協会、市老人クラブ連合会 | 37,000 |
| 市保護司会、市手をつなぐ育成会 | 32,000 |
| 市福祉関係団体連絡協議会 | 30,000 |
| 市老人クラブ連合会（舞踊）、市老人福祉囲碁クラブ、市ゲートボール協会 | 20,000 |
| 市保育協議会 | 40,000 |

(18) 民生委員児童委員活動への協力

多久市民生委員児童委員連絡協議会が実施する研修、その他の活動推進に協力し、連携して地域福祉活動の推進に努めました。

①多久市民生委員児童委員連絡協議会への助成（369,600円）

②民生委員児童委員研修の実施協力

2 福祉資金貸付事業

一般の金融機関、その他からの融資を受けることが困難な世帯に対し、生活上一時的に緊急な小額の資金を必要とする場合の貸付事業を行っていますが、本年度の実績は8件でした。

3 受託事業

(1) 多久市シルバー人材センター事業

高齢者の生きがい事業として事業展開しました。会員と受注状況は次のとおりです。

①会員の状況

| 区分 | 60歳未満 | 61歳から 64歳まで | 65歳から 69歳まで | 70歳から 74歳まで | 75歳から 79歳まで | 80歳以上 | 計 |
|----|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----|
| 人数 | 0 | 0 | 8 | 23 | 20 | 10 | 61 |

②職群別受注状況

| 区分 | 仕事内容 | 件数 | | 契約金額(円) | |
|-------|------------------------|-------|-------|------------|------------|
| | | 3年度 | 4年度 | 3年度 | 4年度 |
| 技能群 | 大工、左官、植木の剪定 | 635 | 478 | 14,356,746 | 11,257,063 |
| 管理群 | 施設管理、物品管理 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般作業群 | 屋内外清掃、除草、草刈、 農作業、消毒 | 1,010 | 1,076 | 25,230,021 | 25,027,795 |
| 折衝外交群 | ポスティング | 1 | 1 | 54,000 | 54,000 |
| 計 | | 1,646 | 1,555 | 39,640,767 | 36,338,858 |

(2) 社会福社会館の管理運営

多久市「公の施設」の指定管理者として、社会福社会館の管理運営に努めました。

(3) 生活困窮者自立支援事業

福祉事務所設置自治体を実施主体となって、生活困窮者の地域における支援体制を構築し、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施することとし、多久市社会福祉協議会が受託しています。無料相談窓口を設置し、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者と寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行いました。

また、令和3年度から引き続き新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の申請相談業務も受託しました。

①新規自立相談件数

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 | 不明 |
|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|
| 3年度 | 114 | 34 | 9 | 14 | 3 | 53 | 1 | 0 |
| 4年度 | 72 | 19 | 9 | 6 | 0 | 35 | 0 | 3 |

①-②新規自立プラン策定件数

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 3年度 | 13 | 3 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 |
| 4年度 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |

①－③新規家計改善支援決定件数

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 | 不明 |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|
| 3年度 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 4年度 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |

①－④新規家計改善プラン策定件数

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 3年度 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 4年度 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |

⑤就労準備支援者数（継続者を含む）

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 3年度 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 4年度 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |

①－⑥新規就労準備プラン策定件数

| 年度 | 合計 | 東多久 | 南多久 | 多久 | 西多久 | 北多久 | 市外 |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 3年度 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 4年度 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

⑦自立支援金支給申請相談

| 年度 | 文書送付件数 | 初回面談件数 | 2回目以降面談件数 |
|-----|--------|--------|-----------|
| 3年度 | 108 | 18 | 22 |
| 4年度 | 11 | 8 | 49 |

⑧自立支援金再支給申請相談

| 年度 | 文書送付件数 | 初回面談件数 | 2回目以降面談件数 |
|-----|--------|--------|-----------|
| 3年度 | 4 | 3 | 5 |
| 4年度 | 14 | 11 | 36 |

(4) 中核機関の設置運営

成年後見制度の利用促進に向け、広報、啓発、相談及び利用支援などを行う中核機関を令和5年1月に設置し運営しています。なお、この事業は多久市権利擁護相談支援事業の一部として取り組んでいます。

(5) 障害児交流事業

在宅の障害児とその家族のふれあい、家族同士のつながりを深めることを目的にピザ作りを実施しました。

期 日 令和5年3月12日（日）

場 所 納所交流センター

参加者 21人

(6) 地域住民グループ支援事業（地域ふれあいネットワーク運動推進事業）

見守りが必要な一人暮らし高齢者等を対象に民生委員や地域の住民を連絡員として安否確認を行う組織づくりを進めるため活動推進費を民生委員が担当する69の地域に対し継続して助成しました。

助成額は2, 116, 275円です。

| | 該当高齢者数（人） | 連絡員数（人） | 延べ訪問数（回） |
|------|-----------|---------|----------|
| 東多久町 | 116 | 89 | 5,690 |
| 南多久町 | 35 | 32 | 1,936 |
| 多久町 | 72 | 67 | 4,048 |
| 西多久町 | 28 | 30 | 928 |
| 北多久町 | 277 | 154 | 8,084 |
| 計 | 528 | 372 | 20,686 |

(7) ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に集い、相互扶助のもと、心身共に健康で生きがいのある豊かな生活の実現を目指すことを目的としてサロン活動の支援・助成金の交付を実施しました。

助成金交付対象サロンは、49サロンでした。

(8) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）『あんしんサポート』

判断能力が十分でないため日常生活を営むことに支障がある方の福祉サービスの利用に関する相談、助言、費用の支払い等の援助を目的とする福祉サービス利用援助事業を生活支援員4人体制で関係諸機関と連携し、事業の普及、啓発に努めました。

利用者数は9名でした。

(9) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯等を対象に経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送られるよう支援することを目的に事業を実施しました。

①生活福祉資金貸付事業（佐賀県社会福祉協議会）

本年度の貸付は、ありませんでした。

②特例貸付資金（佐賀県社会福祉協議会）

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの世帯に対し、特例貸付を実施しました。

本年度の実績は、新型コロナ緊急小口資金14件、総合支援資金15件、延長貸付1件ありました。

4 居宅介護等事業

利用者が可能な限りその居宅において日常生活ができるよう運営規程に基づきサービスを提供し、運営にあたっては保険者、地域包括支援センター等の関係諸機関と連携しながら在宅福祉の充実のため次の事業に取り組みました。

(1) 日常生活管理指導員派遣事業

おおむね65歳以上の高齢者を対象に家事等に関する支援、指導を行う事業ですが、本年度の利用は、延べ32件でした。

(2) 居宅介護支援事業、訪問介護事業

介護支援専門員3人、常勤訪問介護員2人、非常勤訪問介護員10人で実施した結果は次のとおり利用がありました。

- ①居宅介護支援事業 延1,012人 ②訪問介護事業 延182人
 ③介護予防訪問介護事業 延292人 ④介護予防サービス計画作成業務 延434人
 ⑤障害福祉サービス事業 延74人 ⑥移動支援 延24人 ⑦同行援護 延35人

(3) 社協独自事業「在宅サポート事業『さわやか』」 延28件

(4) 多久市地域包括支援センターへの職員出向

職員2名が出向し、居宅で日常生活が行えるように、在宅福祉の充実に努めました。

5 その他の活動

(1) 福祉バスの運行管理

年間の利用は57回あり運行管理に努めました。

(2) 共同募金、歳末たすけあい募金運動への協力

| | 区 分 | 募金実績額 (円) | 備 考 |
|------|--------|-----------|--|
| 共同募金 | 戸別募金 | 2,043,300 | 一世帯350円 |
| | 資材募金 | 350,417 | 民生児童委員会、福祉施設、老人クラブ、個人、市内保育園、ボランティア団体、市内事業所 |
| | 法人募金 | 300,000 | 市内事業所 |
| | 学校募金 | 53,065 | 市内保育園 |
| | 職域募金 | 165,019 | 多久市役所、多久市立病院、JA 佐賀佐城農政協議会 |
| | イベント募金 | 73,851 | ふれあい広場（多久まつり） 社会福祉大会 |
| | その他 | 22,072 | 個人、募金箱 |
| | 計 | 3,007,724 | |
| 歳末 | 篤志募金 | 115,577 | 国際ソロプチミスト佐賀中部、グラウンドゴルフ協会、東原庫舎西溪校ほか |

(3) 歳末たすけあい募金の配分（社協財源と併せて支出）

| 区 分 | 配分件数 | 配分額（円） |
|-------|------|---------|
| 要支援世帯 | 20 | 299,674 |

(4) 日本赤十字社会費への協力

| 区分 | 件数 | 会費（円） |
|-----------|-------|-----------|
| 戸別 | 5,838 | 3,210,900 |
| 個人、自動販売機他 | | 24,984 |

(5) 24時間テレビチャリティ街頭募金への協力

毎年多くの市民の皆様よりご協力を頂いております「24時間テレビチャリティ街頭募金」を実施しました。

期 日 令和4年8月27日（土）

場 所 セブンイレブン東多久店、HI ヒロセスーパーコンボ多久店

募金額 98,879円

協力者 33人

(6) 鬼子母神祭の実施

児童の健全育成と安全祈願のため多久市仏教会の協力を得て実施しました。

期 日 令和4年10月21日（金）

場 所 市社会福祉会館

(7) 関係団体事務

- ①佐賀県共同募金会多久市支会
- ②日赤佐賀県支部多久市地区
- ③多久市民生委員児童委員連絡協議会
- ④多久市ボランティア連絡協議会
- ⑤多久市福祉関係団体連絡協議会
- ⑥多久市地域貢献推進協議会